

重粒子線がん治療施設整備運営事業について

(※提案書等をもとに府医療対策課において作成)

1 選定事業者の概要

グループ名称	：(仮称) 医療法人協和会グループ		
代表事業者	医療法人 協和会	【運営】	
構成事業者	グリーンホスピタルサプライ(株)	【施設所有・維持管理】	
協力事業者	(株) 日建設計	【施設設計】	
	鹿島建設(株)	【施設施工・撤去】	
	(株) 東芝	【治療機器】	

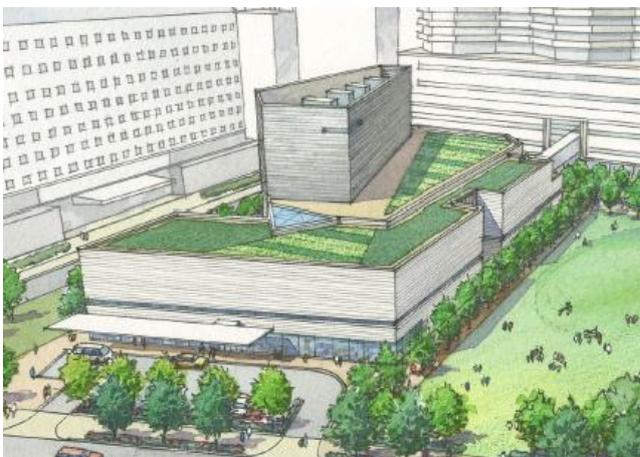
2 提案の基本的考え方

- ・ 成人病センターをはじめとする府内の他医療機関と連携しながら、長期にわたり安全で質の高い最先端のがん治療を府民に提供し、府民に信頼される施設の整備、運営を実施する。
- ・ 技術革新のめざましい放射線治療分野の重粒子線がん治療の最新の開発にも追従しながら、施設の整備、運営を行う。
- ・ 府民が安全で質の高い医療を享受できるように、成人病センターとの連携を図り、最適な治療方法の選択や通院による治療など、常に安全で質の高い医療の実現に向けて、適切な整備運営を行う。

3 施設の概要

敷地面積	約 5,400 m ²	治療室等	3室(水平・水平/垂直・水平/45°)
構造等	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	ポート数	5ポート
階層	地上3階、地下なし	照射方法	スキャニング法
高さ	29.9m	治療台	7自由度
建築面積	3,499.79 m ² (建ぺい率 64.81%)		多関節スカラー機構型治療台
延床面積	7,270.85 m ² (容積率 134.64%)	治療患者数	800人/年
拡張性	呼吸同期システム・斜めX線撮像システム・動体追尾照射・治療装置運転の省電力化		

○ 大阪城側から見た重粒子線がん治療施設イメージ



○ スキャニング治療室のイメージ



平成26年3月24日
大阪府健康医療部
保健医療室医療対策課

4 スケジュール（予定）

平成26年3月 基本協定締結
平成26年4月 基本設計・実施設計着手
平成27年4月 建設工事着工・治療装置製作着手
平成29年度 開院予定

5 運営体制等

職種	開業前	1年目	2年目	3年目以降	
施設長	1	1	1	1	-
医師	3	3	5	8	大学への協力依頼
看護師（看護助手）	2(0)	3(1)	4(1)	5(1)	-
医学物理士（管理者）	1(1)	3(1)	5(1)	6(1)	大学への協力依頼
放射線技師	3	5	7	7	大学への協力依頼
加速器技術者	0	1	1	1	装置会社へ委託
設備維持技術者	0	1	1	1	施工会社へ委託

6 粒子線がん治療検討ワーキンググループ

(1) 開催状況

- 第1回会議
開催日時 平成25年8月8日（木）16時～17時25分
議題 重粒子線がん治療施設整備計画について
重粒子線がん治療施設の運営に必要な人材の育成について
- 第2回会議
開催日時 平成26年2月24日（月）10時～11時30分
議題 重粒子線がん治療施設の整備運営について
人材の確保・育成について

(2) 委員名簿（平成26年1月25日現在、五十音順・敬称略）

氏名	役職
◎ 小川 和彦	大阪大学 大学院 医学系研究科 放射線治療学 教授
亀井 了	兵庫県立粒子線医療センター 事務部長
北川 透	医療法人 協和会 理事長
谷川 昇	関西医科大学 放射線科学講座 教授
鳴海 善文	大阪医科大学 放射線医学教室 教授
西村 恭昌	近畿大学医学部 放射線腫瘍学部門 教授
西山 謹司	大阪府立成人病センター 副院長
三木 幸雄	大阪市立大学 大学院 医学研究科 放射線医学教室 教授
村上 健	放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 国際重粒子医科学研究プログラム プログラムリーダー

◎：座長